

株式会社 黒田製作所

●木曽川、長良川の浸水想定区域に位置する金型設計・製造企業。災害時には従業員及び顧客の安全を確保しながら事業継続を図る。予警報等に基づき事前の営業停止、企業からの金型の受け入れ停止、引き取り等を判断、金型、車両等を避難する計画とし、被災した場合も想定して、協力企業等でのメンテナンス・代替生産による事業の継続を検討。

BCPは企業基盤を強くする為の一つのツール。
社内の活性化、従業員の仕事に対する誇りにつながる。



No.1 水害対応版BCP策定の目的

洪水等の風水害により、当社及びその関係機関、周辺地域が被災した場合を想定し、従業員及び顧客の安全を確保しながら事業を継続、または、早期復旧することを目的とする。このBCPを「水害対応版BCP」と称する。「水害対応版BCP」は既存「BCP基本計画書」に追加するものとする。

No.2 水害対応版BCPの基本方針

株式会社黒田製作所が育ったこの地で、地域の為、人の為、顧客の為に貢献する
1. 従業員の安全の確保
2. 製品の納期遅れを最小限に
3. 地域の復興に貢献する

No.4 水害時の想定（洪水の浸水範囲・浸水深）、避難所、避難ルート

■浸水深5-10m 木曽川（想定最大規模）



■浸水深0.5-3m 長良川（想定最大規模）



■立地

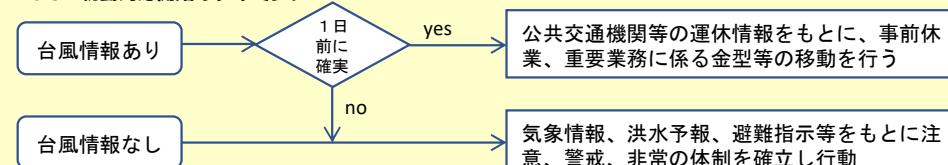
- ・岐阜県羽島郡岐南町
- 業種・規模・創業
 - ・金型設計・製造業（主に自動車の車内用プラスチック部品）
 - ・従業員数150名
 - ・昭和50年9月創業



No.3 重要業務（事業）

		選定理由
対象範囲	樹脂用金型の設計・製作	金型製作単一の事業である
重要業務	量産中の金型及び量産直前の金型の製作工程	顧客の生産継続及び顧客が被災した場合の生産再開早期化に寄与する業務である
目標復旧期間	納期遅延30日以内	顧客が許容する納期延長の限界である

No.5 初動対応開始のタイミング



体制

関連企業

本社工場

発注企業

自動車部品の金型設計・製造及びメンテナンス



台風情報

レベル2 注意体制確立

レベル3 警戒体制確立

レベル4 非常体制確立

発災

設備被災下での操業継続

復旧 (=次災害に備えた事前対策)

ハード対策検討

※大型台風の襲来が予想される場合で、公共交通機関の計画的な運休が予定される場合、事前休業、企業からの金型の受け入れ停止、引き取り等を判断し、行動する。

【継続して情報収集】

早期帰宅（及び避難）等準備
★避難させる対象（金型）優先順位、場所の検討

【警戒体制確立の情報提供】

- 早期帰宅（及び避難）等開始
- 重要資機材、商品等：PC等を3階に移動
- 職員、車両、金型水平移動（トラック）、金型垂直移動（ラックに高上げ）

移動が困難な量産中の金型等の移動の準備をする

【非常体制確立の情報提供】

【発災、被害状況の情報提供】

■与条件：自社の被害が甚大な場合もしくは復旧する金型の数が多くて自社内の能力をオーバーする場合、代替生産

量産中の金型のメンテナンス、量産直前の金型の代替生産を行う

【被害状況に応じた対応】

- | | | |
|-------------|--------------|-----------------|
| (1)メンテナンス継続 | (2)全面再作製（海外） | (3)部品レベルの修理 |
| ①大型：代替工場1 | ①大型：韓国 台湾 | ・再作製（国内） |
| ②中型：代替工場2 | ②中型：韓国 台湾 中国 | ①委託先1 国内の金型作製会社 |
| ③小型：代替工場3 | ③小型：台湾 中国 | ②委託先2 国内の金属加工会社 |

【復旧に関する情報提供】

- | | | |
|--------|-------|----------|
| ★設備類控え | ★損害保険 | 工場復旧方針決定 |
| | ★融資 | （原位置復旧） |

※屋上や壁面の換気設備、シャッターの防水・浸水防止対策を検討



（想定される被害）

- ・浸水による建物・設備の被害。浸水深5-10m（木曽川）で3階まで被害が及ぶ。
- ・道路、電力等の破壊。長期的寸断。
- ・事業の長期的停止

（そのため）

- ・人命被害回避のため早期帰宅（及び緊急避難）を検討する。
- ・重要資機材（機械、金型、商品等）の移動を検討する。
- ・事業継続を検討する。